

6年

国語	情報と情報をつなげる	6年 組
		名前

①①～③の情報と情報の関係が正しくなるように、それぞれ線でつなぎましょう。

① Aとその説明(定義)の関係

② Aとその具体例の関係

③ 複数のものと、その共通点Aという関係



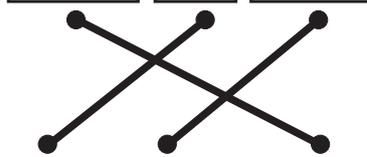
・このようにAは—だ。

・ここから考えられるのはAだ。

・Aとは—のことだ。

・—はAだ。例えば—。

・Aには—や—がある。



A = △

1 2 3
A

A
1 2 3

②①～③は、提案する文章の構成について話しています。()に当てはまる言葉を から選んで書きましよう。

①事実と意見を区別する。
事実は自分たちの(体験)や(調べて)わかったこと、解決したい(課題)を示す。

②意見は(具体的)な提案内容や、提案が実現したときの(効果)を示す。

③それぞれの内容をどのよつな(順序)で伝えれば、(説得力)のある提案になるか考える。

効果・体験・順序・課題
具体的・説得力・調べて



※それぞれ一度しか使えません。

③①～⑧の慣用句の()に、身体の一部の名前を書きましよう。

- ①(首)を長くする
- ②(顔)にどろをぬる
- ③(頭)をかかえる
- ④(口)がすべる
- ⑤(耳)にたこができる
- ⑥(腹)をさぐる
- ⑦手も(足)も出ない
- ⑧目から(鼻)へぬける



④①～⑧のことわざや故事成語に当てはまる漢字を から選んで()に書きましよう。

- ①引法にも(筆)の誤り
- ②(論)より証拠
- ③漁夫の(利)
- ④苦しい時の(神)だのみ
- ⑤二(階)から目薬
- ⑥(灯)台もと暗し
- ⑦五十歩(百)歩
- ⑧まかぬ(種)は生えぬ



灯・論・泣・神・利・門
百・筆・先・万・階・種